

# はしもと

## 〈病院理念〉

地域に根づいた患者様に信頼される病院づくり

## 〈基本方針〉

～心のかよう病院を目指して～

患者様のため、まごころの医療を目指します  
地域の皆様から信頼される病院づくりに努めます  
常に新しく良質な医療ができるように心がけます  
皆様の健康増進、疾病予防のお役に立ちたいと願っております

## 〈病院運営のコンセプト〉

1. 気づきの医療
2. わかりやすさ



## 回復期リハビリテーション病棟

### ☆回復期リハビリテーション病棟の目標☆

- ① 日常生活動作の向上（ADL）
- ② 寝たきり防止
- ③ 在宅復帰



### ☆チームアプローチ☆

回復期リハビリテーション病棟では、患者様が1日でも早く日常生活を送ることができるように、専門職が医療・介護を提供します。医師・看護師・薬剤師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・介護士・ソーシャルワーカー等といった多職種がチームとなり、医療・介護を行い、脳血管疾患や運動器疾患等の機能障害を始めとする後遺症の回復や日常生活の改善・向上を目指します。

### ☆回復期リハビリテーションの看護師の役割☆

入院中の日常生活の援助を行い、退院後、自宅での生活が自立できるようにサポートすることが看護師の役割です。看護師が実施していることの一つに、在宅復帰に向けて、内服自己管理ができるよう服薬指導を行っています。内服自己管理チェックシートを使用し、その人に合わせた内服自己管理方法ができるようにします。副作用などに気をつけ確認を行っています。

家族会では、患者様とご家族様が、退院後安心して内服薬を管理できるように、薬についての作用や副作用、管理方法の説明を行っています。



## 認知症治療病棟

### 活動紹介 ～ペダルエクササイズ～

- ・日中することがなく、ぼーっとしている。
- ・昼間にウトウトしてしまって、夜になると眠れない。
- ・運動不足だけど、今の時期は暑いしヤル気が起きない。

などの悩みが外来・入院患者様ともに多く聞かれます。

そこで認知症治療病棟では、日中活動としてペダルエクササイズを実施しています。

椅子に座ってテレビを見ながら簡単に運動ができ、自転車をこぐ感覚で、動作が単純かつ簡単です。認知症・高齢の方でも利用しやすいです。

病棟では、この活動によって歩行の安定や昼夜逆転傾向の改善が得られており、今回の取り組みをまとめ、慢性期医療学会で発表する予定となっています。その他の活動も随時報告していきたいと思えます。



## 栄養管理委員会

### リハビリ効果を高める栄養療法

#### 筋力を高めるためには、筋肉（筋たんぱく）を増やすことが重要

リハビリを行っている方は、活動係数を1.5～2.0に設定すると、エネルギー必要量が多くなるため、1日3回の食事だけでは摂取できないことがあります。

この場合、食間や眠前、リハビリの合間や前後に栄養剤を摂取するなどして、1日のトータルでエネルギー必要量を確保する必要があります。

特にリハビリの合間や直後の栄養摂取は有用であると考えられています。筋肉の合成にはたんぱく質に加えエネルギーも必要となるため、リハビリの後、なるべく早く（30分以内に）たんぱく質と糖質を含んだ栄養剤を飲むことによって、筋力や持久力がより増加しリハビリの効果を高めることが期待されています。



活動係数とは、1日エネルギー消費量を計算するときに考慮する身体活動量の数字です。

日本人の食事摂取基準（2020年版）における健常高齢者（75歳以上）の身体活動レベル、つまり活動係数は、レベルⅠ（低い）1.40、レベルⅡ（ふつう）1.65です。

一方、急性期病院の入院患者の活動係数は、1.0～1.3程度に設定されることが多いです。

## 拘束廃止普及委員会

拘束廃止普及委員会では、年に一度「拘束・抑制体験」をスタッフ対象に実施しています。

方法：スタッフが身体拘束をうけた状態で1日を過ごす。

目的：当院では身体拘束は一切行っておりません。拘束をした場合に患者様は、身体的・精神的に大きな負担を強いられるためです。拘束をされた患者様の気持ちをくみ取り、身体拘束をしない取り組みを理解し実践することが目的です。



### 身体拘束とは？

医療現場において安全確保の観点からやむを得ないものとして実施されてきた、患者様の身体的・精神的自由を妨げるもの。

- 例)
- ・椅子から立ちあがれないようにベルトで固定する・必要以上の向精神薬を投与する
  - ・点滴や経管栄養を抜かないように手足をベッド柵に縛る、手にミトンをはく。

### 当院での拘束をしないための取り組みの一例

- ・点滴や経管栄養チューブを自己抜去する危険性がある患者様にはスタッフが見守りを行う。
- ・立ち上がりや歩行が不安定な患者様には転倒や転落防止のため、センサーマットや低床ベッドでの対応。

患者様やご家族様に対しては、入院時に身体拘束に対する考え方や転倒・転落事故の防止策の対応方針を十分に説明し、理解と協力を得るようにしています。



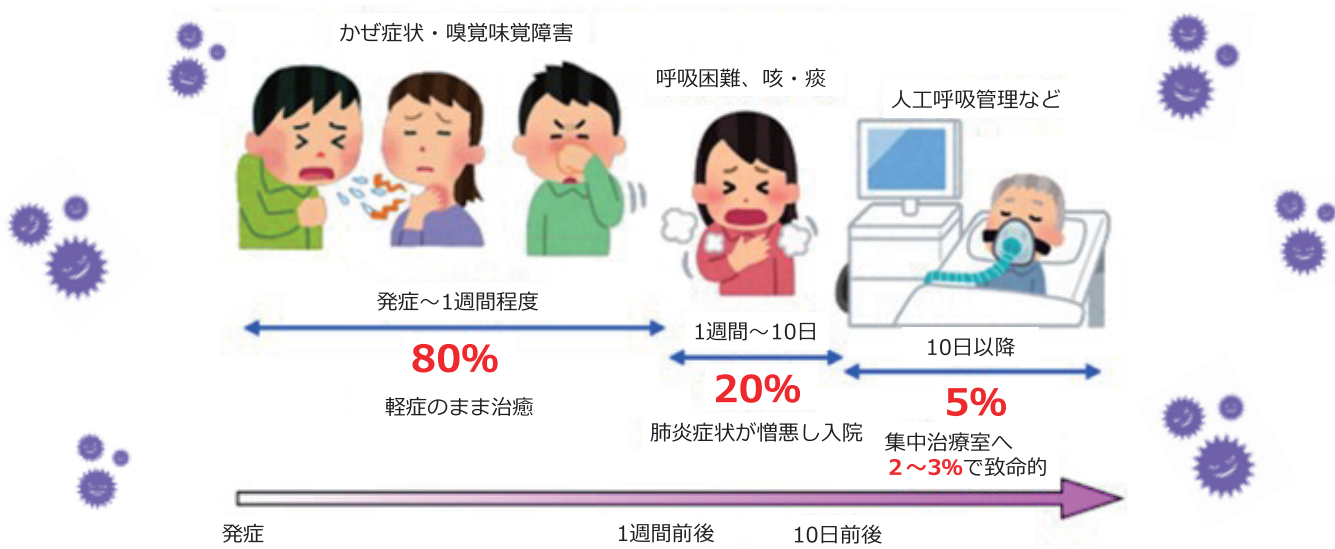
## 新型コロナウイルス感染症対策

### 新型コロナウイルス感染症とは

新型コロナウイルス感染症の初期症状はかぜやインフルエンザと似ています。

かぜは、微熱を含む発熱、鼻水、鼻詰まり、喉の痛み、咳などの症状がみられることが多く、またインフルエンザもかぜと似ていますが、**新型コロナウイルス感染症はかぜに比べると高熱が出ることも多く、頭痛や全身の関節痛を伴うことがあります。**

### 新型コロナウイルス感染症の経過



### 当院の新型コロナウイルス感染症対策

#### ★ 来院者全ての方への感染対策受付での対応

院内への出入口を正面玄関のみに制限（8時～19時の間のみ可）

新型コロナウイルス感染症患者との接触確認、体調チェック、体温測定

#### ★ 外来患者様

新型コロナウイルス感染症患者との接触がある方、発熱が37℃以上の方は車で待機し、病院へ電話し受診の可否を確認

#### ★ 外来リハビリ患者様

新型コロナウイルス感染症患者との接触がある方、発熱が37℃以上の方はリハビリ中止

#### ★ 患者訪問調査等

チェック項目に準じて確認（該当する場合は面会禁止）

#### ★ 入院患者様、御家族様

全病棟の面会禁止（洗濯物については13時～19時の間に感染対策受付で対応）



### 面会希望者へのテレビ電話での面会

- ・タブレットのモニターを通じて入院患者様とご家族様との面会を実施いたしております。事前予約制で、面会時間は午後1時～5時まで。面会者の方の人数は3名までとし、10分程度でお願いします。

### 面会ブースでの面会

- ・事前予約制で、面会可能日は月曜～土曜。面会者の方の人数は1名までとし、10分程度でお願いします。

#### ★ 病院全体の取組

職員全員マスク装着・体調チェック・3密となる箇所の利用人数制限・不特定多数が触るドアノブの消毒・面談時に使用した場所の消毒・会議室等の使用後机の消毒等



※ 厚生労働省ならびに香川県知事通知に基づく対応を実施しています

## 感染対策豆知識

### マスクの正しい付け方 ～「マスクの表裏」どっちが正解？ 正しい付け方・NGな使い方～

ふだん何気なく使っているマスクですが、正しい着用方法をご存知ですか？ 正しくマスクをつけていないと、実はあまり意味がありません。今回はマスクの正しい使い方、間違った使い方などについてご紹介します。

#### つけ方の間違いが多くみられる プリーツタイプ



#### ★ 表と裏を確認しましょう！

プリーツタイプは、とても手軽で、日常的に使うには優れているのですが、表と裏を間違える人が結構います。見分ける方法は、ノーズピース（鼻を固定させる箇所がついている方）を上側に、ヒダが下向きになっている面が外側になります。耳かけヒモの取り付け位置で確認できるものもありますが、メーカーによって違うこともあるので、まずは、ヒダの向きを確認しましょう。

#### 悪いマスクのつけ方

せっかくのマスクも、効果がない使い方の人を見かけます。

★ **鼻やアゴを出さない！** 息苦しいのかもしれませんが、マスクを鼻の下にしている人がいますが、それではマスクの意味がありません。またアゴを出していると隙間が出来るので、マスクの効果が薄れてしまいます。

★ **マスクをアゴにかけない！** よく見かける姿ですが、これもNG。マスクをずらした際、表面についたウイルス、埃、花粉などが手に付着して、手から口や鼻に移ってしまいます。

マスクを外す際は、耳かけヒモを持ちながら、マスクに触らないように捨てるのが理想です。もったいなからといって、同じマスクを何度も使いまわしたりしないでください。1日1枚が目安です。



## オンラインミーティング

### ～リハビリミーティングもオンラインで～

当院では年に数回、当院と同法人である大阪の千里リハビリテーション病院 副院長で理学療法士の吉尾雅春先生をお招きして、直接患者様を診ていただきながら、リハビリテーションアプローチのご指導をいただいております。

しかし今年に入り、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、直接来院されてのご指導がいただけない状況になりました。そこで、5月頃から大阪の病院と当院とをオンラインで繋ぎ、カメラを通して患者様と会話し、診ていただく「オンラインミーティング」の実施をスタートしました。



オンラインミーティングが最も難しいと感じる場面は、直接先生が触れることができない患者様の体の硬さや柔らかさをお伝えすること、また運動の方向や位置を2次元の中で表すことです。それらをより詳細にお伝えすること、ご指導いただいていることをしっかり理解することなど、今まで以上に勉強し、それらを患者様に提供することが必要だと感じております。

コロナウイルスはまだまだ落ち着く気配はないようです。もうしばらくこの状況は続くと思いますが、私たち医療者側の学びを止めることのないよう、いろいろな手段を用いながら、さらに知識を深めて参りたいと思います。



## 栄養部

### 行事食の紹介



お寿司の日

散らし寿司  
焼魚（さんま）  
小松菜のおかか和え  
きのこの清汁  
水ようかん



赤飯の日

赤飯  
天ぷら  
煮合わせ  
白菜と春菊の和え物  
おぼろ汁



土用の丑の日

ご飯  
うな卵煮  
味噌煮  
なめ茸和え  
清汁



「何をどのくらい食べた  
らいいの？」

「とろみ食とは？」

患者様の病態に応じた食  
べ方のコツや調理の工夫  
について食事相談、食事  
療法を行っています。

お困りの際に  
は、いつでもご  
相談ください。



当院では患者様に少しでもお食事を楽しんでいただけるよう、季節の行事等に合わせたお食事を提供しています。メッセージカードも添えています。

毎月1日：お寿司の日、毎月16日：赤飯の日とし、その他もさまざまな行事食を行っています。現在新型コロナウイルス感染症防止のため、バイキング食は開催を中止しております。

## 認知症キャラバン

### 香川県地域包括ケアシステム推進委員会の依頼を受け、 認知症キャラバンを行いました

2020年9月9日に香川県地域包括ケアシステム推進委員会の依頼を受け、「かがわ長寿大学」で認知症キャラバンの講義を行って参りました。香川県は認知症予防に向けて「運動・栄養・社会交流の三位一体プロジェクト」を推進しています。認知症キャラバンでは、県内のリハビリテーション専門職が講師となり認知症予防運動のコグニサイズを実践しています。



コグニサイズとは、コグニション（認知）とエクササイズ（運動）を組み合わせたものです。コグニションは脳に認知的な負荷がかかるような各種の認知課題が該当し、エクササイズはステップやウォーキングなど、全身を使った運動課題が該当します。

今回の参加者は31名で、「数字の呼称とステップ」等2つの課題を同時に行うという内容を実践しました。



どなたも長寿大学でご活躍されるだけあって、非常に積極的な方が多く、今後は地域の中で「認知症サポーター」として活躍されるとのことでした。当院としても、地域の高齢者の方を多方面から支えられる機会をこれからも作っていかうと考えています。



## 地域連携室

2013年12月1日から行っている**事前訪問**（当院転院前に患者様が入院されている病院へ直接訪問し、心身状態の把握や入院についての説明等を実施）の2020年7月～8月の回復期リハ病棟の実績を紹介します。

- 1ヶ月の訪問件数：7月【26件】、8月【26件】
- 入院されている病院から紹介状が届いて訪問するまでの平均日数：7月【4.5日】、8月【3.5日】
- 紹介状が届いて当院へ転院されるまでの平均日数：7月【10.2日】、8月【7.9日】

※事前訪問後、当院へ転院されるまでの平均日数は4.4日です。大変お待たせして申し訳ございません。

### 対象となる方

1. 脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷の発症又は手術後、義肢装着訓練を要する状態から2ヶ月以内。高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸随損傷及び頭部外傷を含む多部位外傷の発症から2ヶ月以内。
2. 多肢の骨折、大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の骨折もしくは手術後から2ヶ月以内。
3. 外科的手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後または発症後から2ヶ月以内。
4. 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は関節の神経、筋又は靭帯損傷後の1ヶ月以内。
5. 股関節又は膝関節の置換術後の状態の1ヶ月以内。



### リハビリは 365日、1日3時間

提供させていただきます。  
また、多職種によるチーム医療で、早期に退院できるように取り組んでいます。

### 入院相談はお気軽にご連絡ください！

橋本病院 地域連携部

窓口：大西 宏美

電話：0875-63-3552（直通）

0875-63-3311（代表）

認知症治療病棟への入院相談もお伺いしております。お気軽にご連絡ください。



### 移動も安心のサービス

転院の際の無料送迎をしております。ご希望の方はお気軽にお申し出ください。

## 事務部

### ～ 2020年10月より インフルエンザの予防接種が始まります ～ 【実施期間】 2020年10月1日～2021年3月31日

#### \*インフルエンザとは

1～3日間ほどの潜伏期間の後に、通常38℃以上の高熱や頭痛、全身倦怠感、関節痛や筋肉痛等の症状が比較的急速にあらわれ、いわゆる「かぜ」に比べて全身症状が強いことが特徴です。高齢者の方や慢性疾患を持つ方、免疫機能が低下している方は、重症化のリスクが増加するため、特に注意が必要です。

#### \*予防接種の効果

残念ながら、感染を完全に阻止する効果はありません。しかし、発病の予防や発病後の重症化予防においては、一定の効果があるとされています。

#### \*定期予防接種について

予防接種法に基づく定期接種の対象者は以下の方となります。

- ① 満65歳以上の方
- ② 満60歳から64歳で、心臓・腎臓・呼吸器の機能、またはヒト免疫不全ウイルスにより免疫機能に障がいがある方（身体障害者手帳1級相当）

#### \*その他

- ・予診票の配布方法は各市町村によって異なります。
- ・詳細はお住まいの市町村までお問合せください。



ご予約は受付窓口またはお電話にて承ります  
ご希望の方はお気軽にお問合せください



#### 特定健康診査について

2020年度の特定健康診査の実施期間が**2020年10月31日まで**となっております。

診査は三豊・観音寺市の指定医療機関で受けることができます。

当院は**完全予約制**となっておりますので希望される方は、お手数ですがお電話でのご予約をお願い致します。

## 寄贈のご報告

### 三豊中学校様よりきれいなお花を寄贈していただきました！

毎年「ふれあい看護体験」に参加していただいております。「**患者様にお花を見て元氣になってもらいたい**」と、お花を寄贈していただきました。



今年は新型コロナウイルス感染症防止対策のため「ふれあい看護体験」はやむなく中止となりましたが、三豊中学校様より、**プランター8個、マスク50枚10箱**を、代表で3年の環境委員長様に届けていただきました。地域の皆様に支えられていると感じ、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

## 3病棟オールスターデー

認知症治療病棟では、月に1回、**夜勤者を除く全職員が一斉に出勤する「オールスターデー」**を導入しました。

**病棟運営のコンセプト**：活動性を上げることと、患者様に綺麗でいてもらうこと

オールスターデーの取り組みの一例

普段よりも髪型や服装を綺麗にしてコンサートへ行く



桜や紫陽花などのお花見をしに出掛ける



夏には海へ出掛ける



☆ 一の宮海岸への外出時の様子 ☆



など行うことで、患者様にいつも以上の輝きをもってもらえる日となるよう取り組んでいます。

## 職員募集のお知らせ

**募集**

看護師・准看護師  
介護福祉士・介護職  
※ 常勤で働ける方



まずは、病院見学にお越し下さい！  
給与等詳細は、当院ホームページでも閲覧できます。  
<http://www.wafukai-hashimoto.jp>  
TEL 0875-63-3311（人事担当：安藤）

医療法人社団和風会 橋本病院  
〒768-0103  
香川県三豊市山本町財田西902番地1  
TEL：0875-63-3311  
FAX：0875-63-2651  
入院相談直通電話：0875-63-3552  
E-mail：hashimoto-hp@wafukai-hashimoto.jp  
HP：http://www.wafukai-hashimoto.jp  
発行元：橋本病院 広報委員会

**医療** 回復期リハビリテーション病棟 89床  
認知症治療病棟 67床

**介護** 橋本病院指定居宅介護支援事業所  
通所リハビリテーションセンターはしもと  
訪問リハビリテーションセンターはしもと

